

「愛知中部水道企業団環境計画」令和元年度分の結果報告

愛知中部水道企業団では、「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づき、平成 17 年 3 月に策定した「愛知中部水道企業団地球温暖化対策実行計画」により、平成 26 年度まで計画を実行し、温室効果ガス(CO2)の削減を目標に取り組みを行ってきました。平成 27 年 4 月には「愛知中部水道企業団環境計画」を策定し、令和 6 年度までの 10 年間の計画期間として定めました。

令和元年度については、上半期の 5 年間の第 1 計画期とする中期的な目標達成に向けた「愛知中部水道企業団環境計画実施計画 平成 27 年度～平成 31 年度」の最終年度となり、その結果を以下のとおり報告します。

1 地球温暖化対策の推進

令和元年度の電力使用量は 2,522,069kwh となり、前年度に対して 21,489kwh(0.86%)の微増となりましたが、中期目標である平成 26 年度実績から 180,540kwh の削減に対し、1,088,682kwh (603.01%)と目標に対して大幅に削減することができました。水道施設においては、ポンプ等の機器を省エネ型に更新したり、施設の廃止が計画以上に進んだことが、庁舎においては照明を LED に改修したことが主な要因となっています。

再生可能エネルギー利用率の向上における太陽光発電設備の導入については、当初の計画では庁舎屋上に太陽光パネル及び蓄電池を設置する計画でしたが、費用対効果や様々なリスクを勘案した結果、設置場所を東側車庫の屋根上に変更、蓄電池の設置の取り止め、電気自動車への充電設備の設置の追加等計画を見直しました。

なお、令和2年度に設置工事を施工する予定で、完成後は発電した電力と商用電力を混ぜて、庁舎の電力として利用します。

施策の項目	中期目標	前年度(H30)	実績(R1)	中期目標比	評価
電力使用量の削減	3,610,751kwh(平成 26 年度)から 180,540kwh 削減	2,500,580 kwh	2,522,069 kwh	▲1,088,682kwh (▲603.01%)	↗
再生可能エネルギー利用率の向上	導入に係る事業計画の策定(庁舎改修工事の実施)	未実施	計画策定	計画策定済み (令和 2 年度設置予定)	↗

2 資源循環の促進

令和元年度の建設副産物の再資源化率は、建設発生土が 19.52%となり前年度に対し 7.95%の減少となりましたが、中期目標である平成 27～28 年度平均以上の有効利用率年度実績から 12.03%上昇しました。アスファルト・コンクリート塊は 93.81%となり、前年度に対し 5.28%減少、中期目標値に対して 1.35%減少しました。

ごみ排出量は 2,932.5kg となり、前年度に対し 1,285kg(▲30.4%)減少しました。また、中期目標である平成 26 年度基準から 338 kg 削減に対して、443kg(131.0%)削減と目標を達成できました。

施策の項目	中期目標			前年度(H30)	実績(R1)	中期目標比	評価
建設副産物の有効利用率の向上	平成 27～28 年度平均以上の有効利用率	建設副産物(建設発生土)	2.86%	27.47%	19.52%	12.03%	↗
		アスファルト・コンクリート塊	95.16%	99.09%	93.81%	▲1.35%	↘
施策の項目	中期目標			前年度(H30)	実績(R1)	中期目標比	評価
ごみ排出量の削減	平成 26 年度基準から 10%(338kg)削減			4,218kg	2,932.5kg	131.0% (▲443kg)	↗

3 健全な水循環の構築

令和元年度の有効率は 97.74%となり、前年度に対し 0.51%の上昇となりました。また、中期目標に対して 3.24%上回り、目標を達成できました。漏水等不明水量の減が主な要因です。

令和元年度の水源地の間伐実施済み面積は 307.24ha で、累計面積は 10,854.48ha となりました。また、中期目標値に対して 1,145.52ha 下回り、目標を達成できませんでした。国庫補助制度の変更などがあり、最近計画通り整備できていませんが、今後も事業を推進していきます。

施策の項目	中期目標	前年度 (H30)	実績 (R1)	中間目標比	評価
有効率の向上	94.5%以上	97.23% (不感水量を含む)	97.74% (不感水量を含む)	3.24%	↗
水源地環境整備事業の推進	12,000ha	—	10,854.48ha (307.24ha)	▲1,145.52ha (90.4%)	↘

4 環境に配慮した行動

令和元年度は公用車の買い替えがありませんでした。低燃費自動車の導入率は中期目標に対して 38.8%上回り、目標を達成しました。買い替えにあたり、ハイブリッド車や軽自動車を導入したことが要因です。

単価契約物品におけるグリーン購入の導入率は 91.2%となり前年度に対し、29.0%の上昇となりました。また、中期目標に対しても 26.2%上回り、目標を達成しました。引続き単価契約だけでなく、物品購入全般にわたる取組みが必要であると考えます。

施策の項目	中期目標	前年度 (H30)	実績 (R1)	中期目標比	評価
低燃費自動車の導入	導入率 19.5%	58.3%	58.3%	38.8%	↗
グリーン購入の推進	導入率 65%	62.2%	91.2%	26.2%	↗
環境に配慮した行動の促進	環境保全対策の継続 実施と職員の意識向上	—	実施	—	→

5 今後の取組み

令和元年度は、第 1 計画期の最終年度となっており、前年度対比だけでなく、中期目標に対する検証を行ったところ、一部を除いて概ね目標を達成できていました。

令和2年度からの第 2 計画期は、新たに策定した「愛知中部水道企業団環境計画実施計画令和 2 年度-令和 6 年度」により引き続き環境負荷の削減に取り組んでいきます。